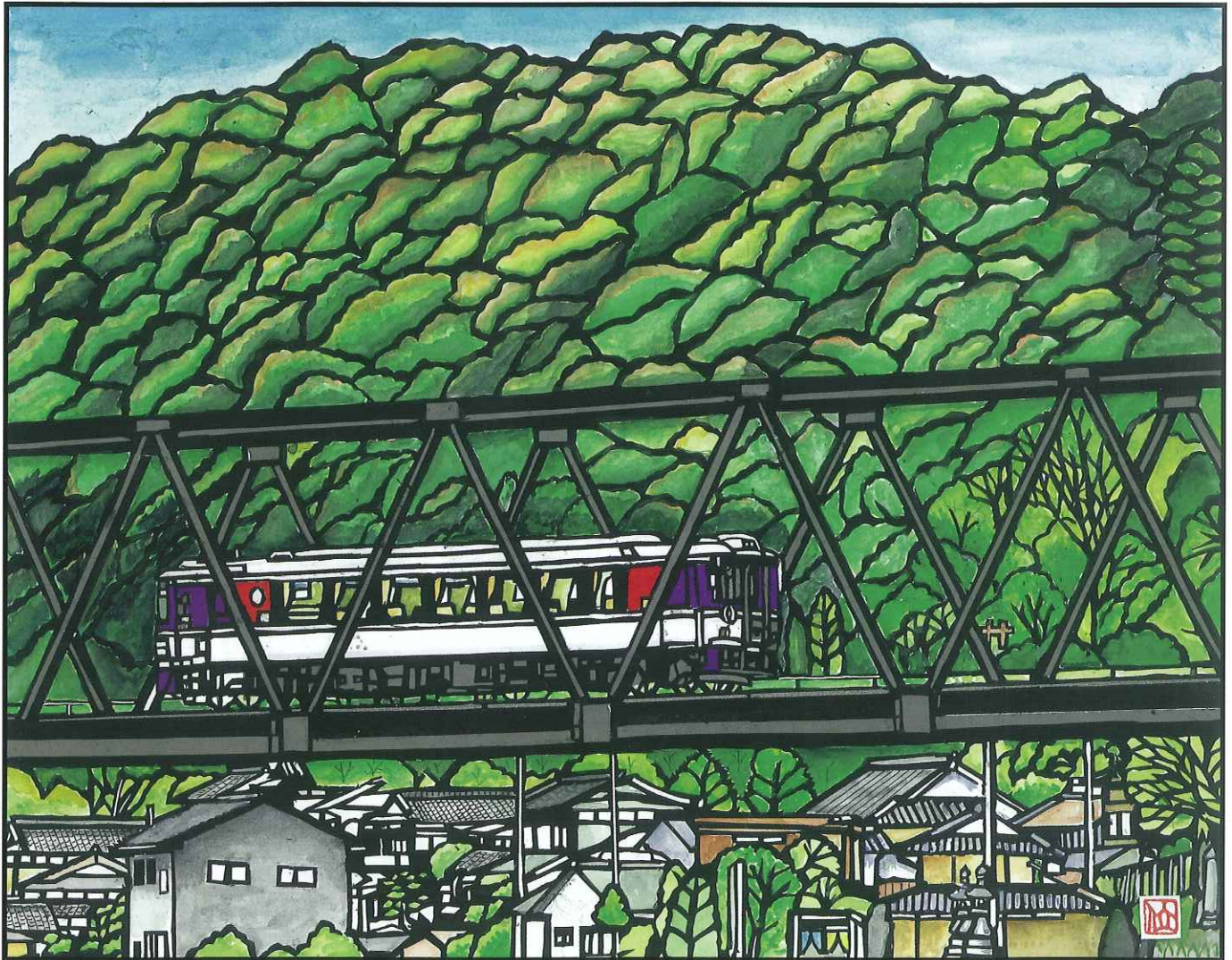


# 小糸<sup>さん</sup>

# 相生・上郡

(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター 相生市山手2丁目123番地  
TEL 0791-22-4050 FAX 0791-23-3345

ホームページ <http://www.aioikamigori-sjc.or.jp>



剪画「上郡町苔繩の鉄橋を走る」大道 位久男氏 作

## 安全掲示板

### 1 夏場の健康管理

- ◆熱中症対策
- ◆適度な睡眠と休養
- ◆蜂刺され予防



### 2 高所作業時の安全対策

- ◆脚立、三角梯子使用時の足元の確認
- ◆安全帯の使用

### 3 交通安全意識の啓蒙

- ◆自転車乗車交通安全講習会
- ◆パンフレット等の配布

## 主な内容

### ■H27年度定時総会 ……P2~P4

- ・H26年度決算・H27年度予算
- ・役員紹介
- ・講演会

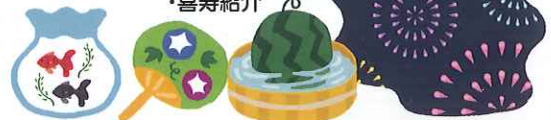
### ■親睦委員会便り ……P6

### ■会員の広場 ……P6~P8

- ・連載手記「趣味と仲間たち」
- ・会員の入退会状況
- ・作品紹介
- ・喜寿紹介

### ■事務局便り ……P5

- ・会員拡大委員会報告
- ・植木剪定技能講習実施
- ・幼稚園児との交流
- ・清掃ボランティア活動





平成27年度定時総会開催

5月27日(水)午後1時30分より相生市民会館において、定時総会が開催されました。会員の物故者への黙祷、理事長の挨拶に続き、当センターの発展に寄与された役員2名、会員29名の方々の表彰、ご来賓のご祝辞を受け、議長に竹内勉氏を選出し、総会次第に則り議事が進められ、全ての議案が承認されました。

【理事長挨拶要旨】



皆さんこんにちは、平成27年度定時総会を開催いたしましたところ、会員の皆様には大変お忙しい中出席をいただき、誠に有難うございます。

谷口相生市長様、遠山上郡町長様をはじめご来賓の皆様には、ご多忙にも拘らず、ご臨席賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

最初に、永年役員・会員として、当センターの発展に寄与され、本日は表彰を受けられる皆様にお祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。



皆様のご功績に深甚なる敬意を表するものでございます。今後、健康に留意をされまして、ますますのご活躍をご期待申し上げます。

さて、平成26年度の受託事業収益は、4億千7百87万3千円と当初予算に比べますと、2千8百97万3千円、7・4%の増額となり、平成25年度の決算額に比べしても千5百7万3千円、3・7%の増額となりました。しかしながら、まだまだ厳しい環境が続いております。今後、健全運営に努めて参る所存でございますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ところで、当センターが公益社団法人に移行した平成24年には、11年ぶりに「高齢社会対策大綱」が改訂されました。そして、その大綱のサブタイトルが「支えられる側から支える側へ」でありま

す。これは、とりもなおさず65歳以上の高齢者に対して、社会参加や就労を求めていることに他なりません。また、この大綱のキャッチフレーズが「人生65年

社会から人生90年社会へ」であります。加えまして、文部科学省生涯学習局の「人生後半の生涯学習の在り方」検討会においては、これを上回る「人生100年時代」という言葉が使われているのでございます。

このように、私たち高齢者をネガティブな存在としてではなく、むしろ社会的資源としてポジティブな存在として位置付けること

こそ、生涯現役社会実現にとって重要なポイントと言えます。その上で、会員の皆様とともに、これか



役員表彰受賞者 三住(左)、上田(右)の両氏



会員表彰受賞者 代表 大和さん

からも元気な高齢者「アクティブ・シニア」「アクティブ・シルバー」として頑張つて参りたいと思っております。本日はこれより「平成26年度事業報告、平成27年度事業計画、収支予算及び資金調達及び設備投資の見込み」の報告4件並びに「平成26年度収支決算、定款の変更及び役員を選任」など4議案をご審議頂くことといたしております。

よろしくご承認、ご決議賜りますようお願い申しあげまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

ご来賓

- 公務ご多用のなか、ご臨席頂き、まことにありがとうございます
- 谷口芳紀 相生市長
- 衣笠達也 上郡町副町長
- 山本守一 上郡町議会議員
- 盛 耕三 県議会議員
- 山口 壯 衆議院議員
- (代理) 三木祥平 秘書
- 富山恵二 相生市市民生活部長
- 竹内繁礼 相生市健康福祉部長
- 松本秀文 相生市地域振興課長
- 種継 武 上郡町産業振興課長





演でした。言った講  
ていると  
に基づい  
学的根拠  
と言う科  
とある  
効果は同  
じである  
という科  
学的根拠  
に基づい  
ていると  
言った講  
演でした。



【講演会】

総会終了後、抗加齢実践家・鈴木啓介氏の「あなたの笑顔、なによりクスリ」と題して、笑いの効用として、ストレス解消、リラックス効果、うつ状態改善などがある。体操とヨガの呼吸法を組み合わせた「実践笑いヨガ」による作り笑いでも、自然の笑い与健康



受付(上)と会場(下)

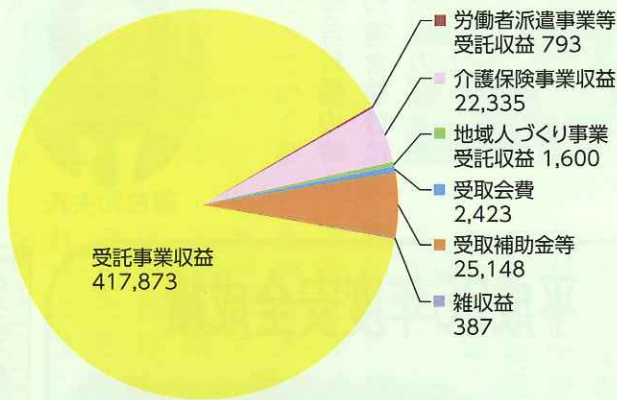


平成26年度決算

(単位:千円)

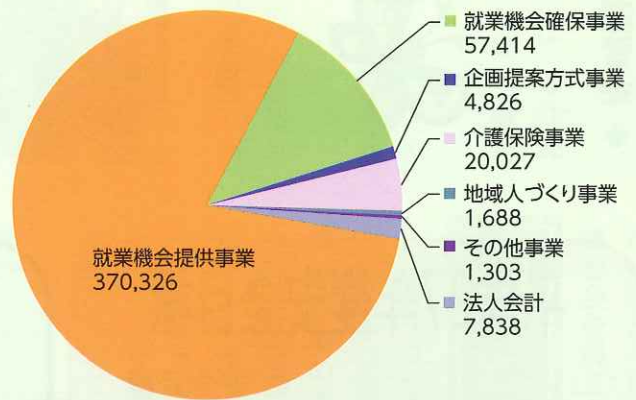
経常収益

(470,559千円)



経常費用

(463,422千円)

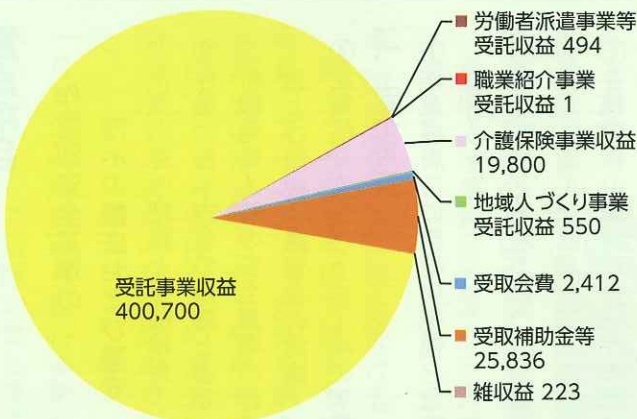


平成27年度予算

(単位:千円)

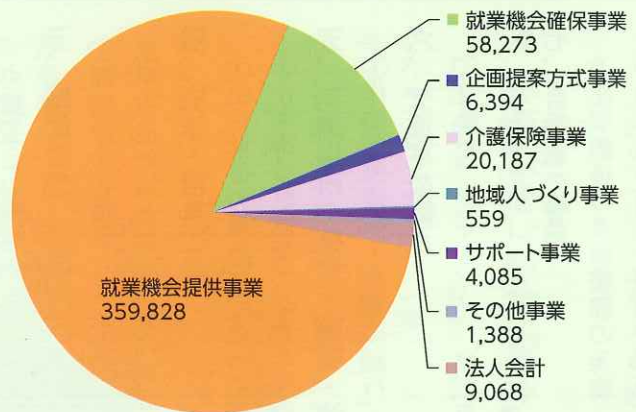
経常収益

(450,016千円)



経常費用

(459,782千円)





# 役員紹介

役員任期満了に伴い、選考委員会で選考され、総会に上程し、承認されました。総会後の理事会において理事長、副理事長、常務理事の選定がありましたので紹介します。



種継 武氏

▼理事  
【新任役員】



富山恵二氏

▼理事

- ◆ 理事 安西 剛男 大石 泰男
- ◆ 副理事長 桑原 伸次 竹内 繁礼
- ◆ 常務理事 濱中 弘 松本 愛子
- ◆ 理事 藪田 洋一 山本 典子
- ◆ 種継 武 (新任)
- ◆ 富山 恵二 (新任)
- ◆ 山田 正司
- ◆ 雁金 幸二 (新任)
- ◆ 藤田 和夫 (新任)



雁金幸二氏

▼監事



藤田和夫氏

▼監事

## 【退任役員】

平成27年度 定時総会終結の時をもって、当センターの運営並びに事業の発展に寄与された次の方々役員を退任されました。

- ▼三住 浩文氏  
理事(常務理事)並びに  
監事在任期間 6期
- ▼上田 俊夫氏  
監事在任期間 6期
- ▼茶野 敏彦氏  
理事在任期間 1期
- ▼中津 尚氏  
理事在任期間 1期



## 平成27年度安全目標

|        | 安全目標   |
|--------|--------|
| 重篤災害件数 | 0件     |
| 一般災害件数 | 5件以下   |
| 休業日数   | 120日以下 |
| 物損事故件数 | 5件以下   |

## 平成26年度安全成績

|        | 安全目標   | 結果   |
|--------|--------|------|
| 重篤災害件数 | 0件     | 0件   |
| 一般災害件数 | 5件以下   | 6件   |
| 休業日数   | 120日以下 | 130日 |
| 物損事故件数 | 5件以下   | 5件   |

## 安全成績および目標

## 見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験 !!

### 重点項目

- 一、作業別安全基準の指示の徹底および遵守
  - ① 作業内容の把握と事前検討
  - ② 作業の指示内容の確認と遵守
  - ③ 新機種導入時の安全基準の作成および取扱い講習会の実施
  - ④ 定期的な安全パトロールの実施
- 二、安全対策
  - ① 作業場周辺の環境の把握と危険個所の改善
  - ② 指差呼称と危険予知(KY)の励行
  - ③ 作業に適正な器具・工具の使用
  - ④ 各種機械の新規取扱い従事者への講習会の実施
- 三、健康管理
  - ① 健康診断の受診と疾病予防対策
  - ② 熱中症対策と救急措置の徹底
- 四、機械・器具工具
  - ① 使用前後の点検・整備の実施
  - ② 作業後は定位置に保管の励行
- 五、就業場所の整理・整頓・清掃
  - ① 作業後の清掃・清潔の励行
- 六、交通事故防止
  - ① 自動車、オートバイ、自転車等走行時のルールとマナーの遵守
- 七、自動車の管理
  - ① 使用前後の点検整備の実施
  - ② 異常時の報告・整備の実施



# 事務局便り

## ◆事務局職員の紹介◆

本年4月より次の3名の方が事務局職員に就任されましたのでご紹介します。(敬称略)

▼相生事務所・松田勉(公共担当)

▼上郡事務所・土井誠(次長)

同 野村暁洋(渉外担当)

(写真上より松田・土井・野村の各氏)



## ◆会員拡大委員会報告◆

平成26年6月、会員拡大委員会が発足し、実施項目を定め、重点期間を設定して推進してきました。

結果は、平成21年度718人から平成25年度は642人と減少が続いていましたが、拡大運動実施以降、平成26年度では668人と減少に歯止めがかかり微増となっております。

入会のきっかけは、普及啓発活動のなかでも、会員よりの「紹介カード」による入会率が高く、本年度も継続して実施していきますのでご協力をお願いいたします。

## ◆植木剪定(実技)講習会◆

当シルバーセンターでは、4月22日(火)、23日(水)の2日間、「植木剪定講習会」を開催しました。

第一日目は、陸公民館において「安全と健康」に関する講義と「剪定作業の基本」を学びました。

第二日目は実技講習のため場所を相生墓地公園の展望台付近に移し指導を受けました。

昨年、伸び放題の樹木の樹形を大胆に整形していたものを今回は形を整える剪定を学びました。



二年連続で受講された方からは、残した枝を手入れする剪定の違いが分かり、見栄えが良くなつていく姿に感心されていました。

日ごろ使い慣れない鋏を使つての作業でしたが、午後は自分たちが摘み取った残滓の片づけも体験し、剪定には知識とセンスが求められ、片付けには体力と美的感覚が求められていることも併せて学び、周辺がき

れいになったのを見て満足げな顔で講習会を終えました。

## 園児と清掃活動

5月7日(木)、会員7名は、相生市立山手幼稚園の先生と3歳から5歳の76名の園児達と相生墓地公園内の児童遊園地の清掃活動を一緒に行いました。

手に大きな軍手をはき、ガンジキとちりとりを使い、落葉やゴミを集め袋に入れていきました。

「おそうじ大好き」「ケムシがいて怖かった」。

シルバーのおじいちゃん、おばあちゃんにすっかりなつき楽しく、はつらつと清掃している時や、清掃後に柏餅を美味しく頂いていく姿を先生のカメラが「パチリ」。「一緒に掃除できて、きれいな



つてうれしかった」「また会おうね」と口々に言ってくれました。園児達

とのふれあいに清々しさを感じた半日でした。

## ◆ボランティア活動◆

5月30日(土)、31日(日)に開催された「相生ペーロン祭」において、当センターでは、前夜祭および当日の会場周辺の道路等を会員延べ62名が清掃活動を行いました。

当シルバーは市行事等へのボランティア活動を通じ地域への社会貢献を果たしています。参加された皆様ご苦労さまでした。



## ◆就業先から称賛を受ける◆

(株)カワベ相生本店で就業している会員の方に、「お店の内外を隅々まできれいに掃除をされて気持ちよかったです」との「お客様からの声」があり、店長からお褒めのお言葉を頂きました。

日々の就業に取り組む姿勢が評価されたことをご披露いたします。



親睦委員会便り

《ボーリング大会開催》

1月24日(土)、相生スカイレーンにおいて、ボーリング大会が開催されました。会員・職員70名(相生56名・上郡14名)が参加して行われました。

入賞者は次の方々です。(敬称略)

「女性の部」

- 優勝 頼實 晴美 スコアー
- 2位 古川 節子
- 3位 田淵 美保

「男性の部」

- 優勝 宮城 忠明 スコアー
- 2位 山岡 正数
- 3位 有田 一巳
- 4位 細川 茂良
- 5位 松山 信高

会員の広場

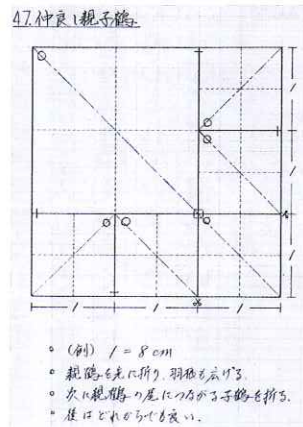
『連載手記』《趣味と仲間たち》

「第二回 フロセスを楽しむ」

大和 俊文

鶴を正確に折ることを覚えるために、まず、製図の書き方から覚えなければなりません。折り方は線で表し、山折り、谷折り、中わり、かぶせ折り、段折り等色々な記号(線)を

覚えてます。この記号は特別難しいものではなく、ひとつのルールだと思いつつ覚えていきました。



三羽・五羽と繋いでいくうち「あつ」しまった、一羽取れてしまった」など何度も失敗しながら作っていました。

鶴の口先の折り方によって鶴の表情が変わることも覚え、楽しみながら、初級から中級へと上級を目指して頑張っています。

この折鶴を続けてこられたのも、一緒に始めた仲間たちの存在です。年を重ねるにつれ「物覚えの悪さ」



(釣舟)

「物忘れの速さ」をぼやきながらも、出来の悪いのは自分だけじゃないと自らを慰め「結果を気にせず、プロセスを楽しむ」と割り切つてこれからも挑戦します。

年一回の「ふれあい作品展」を研究の発表の場として出展を続けていきたいと考えております。

“楽しくなければ趣味じゃない”をモットーに” (おわり)

◆ サークル活動 ◆

「まぼろしのホールインワン」

平成15年、AKゴルフサークルが発足して以来、初めて安西剛男さんが「ホールインワンを達成」と報告したいところですが、無情にもピンにはじかれニアピンとなり、バーディフィニッシュとなりました。残念!!



「つばきまつりに出店」

環境改善グループでは、3月21日(土)、相生市主催の「つばきまつり」に「EMぼかし」の肥料販売と「米の



締めて活動したいと思えます

とき汁発酵液「EM石鹼」の無料配布を行ないました。海を美しく「那波港浄化活動」のEMダンゴ投入活動への理解と募金をいただく中、これからも気持ちを引き

「表紙のつば」

静かな山沿いを一両編成の列車が走る。それは上郡町苔縄の鉄橋を渡る智頭急行です。智頭線の建設計画は、明治期から「昭和」の着工まで74年を要したが国鉄民営化の影響もあって計画が凍結された。

しかし、兵庫、岡山、鳥取の三県の自治体の協力で第三セクター方式で開業となり「都会」にない地域の個性を生かして地域と寄り添うローカル線として今走っている。

大道 位久男



# 会員の入退会状況

(平成26年12月1日～平成27年4月30日)

**【新入会員】** 相生33名・上郡9名 合計42名 (敬称略)

**《相生地区》**

坂倉 初枝・上田 辰巳・安藤 幸史・島津 敬子・祐谷 茂光・貝賀 修一・高畑 一郎  
 小林 美千代・三橋 正博・泉 和子・松原 千秋・若林 成明・中本 みや子・谷上 修保  
 中本 登・塩谷 孝子・牛堂 和子・小林 トシエ・石野 和子・高橋 堅太郎・竹内 八郎  
 亀田 イク子・前川 勝子・細川 初美・薦谷 隆二・八木 隆貴・三宅 勝廣・花谷 博司  
 松田 勉・藤田 和夫・山上 秀人・池田 佐智子・川崎 久令

**《上郡地区》**

井水 保夫・西川 幸代・末政 浩・田中 茂・宮谷 友明・東末 弘美・野村 暁洋  
 土井 誠・前田 ヒトミ

**【退会会員】** 相生31名・上郡 11名 合計42名 (敬称略)

**《相生地区》**

西川 八郎・高見 稔・尾西 眞和・岸本 光義・梶谷 美春・相本 幸男・丸山 和代  
 奥藤 雅弘・谷 美津子・西脇 正義・横田 マス子・小橋 祐義・古本 慶子・古林 輝孝  
 柴田 敬・貝賀 道子・西脇 誠一・石井 享・森脇 慎一・土井 誠・五十川 美津子  
 内海 昭子・山下 清子・福本 紀男・宮井 洋子・西田 泰晴・上野 豊・永野 和子  
 宇多 敬光・中谷 八重子・宇崎 治

**《上郡地区》**

松本 豊・小林 みさ子・山口 艶子・為本 せつみ・杉本 俊治・谷口 弘子・小林 晃  
 山本 君子・深澤 仁貴・前田 芳則・新 一成

**【在籍会員数 (人)】**

| 相生地区 | 上郡地区 | 全体  |     | 会員合計 |
|------|------|-----|-----|------|
|      |      | 男性  | 女性  |      |
| 570  | 100  | 516 | 154 | 670  |

**お知らせ**

**一、『安全・適正就業講習会』**

- ① 期日・7月18日(土)午前10時
- ② 場所・相生市立総合福祉会館
- ③ 講演・「笑って身に着けよう 振込詐欺、高齢者の交通事故対策」

**二、『親睦委員会行事予定』**

- ▼ グラウンドゴルフ大会  
 ・日程・平成27年11月
- ▼ ボーリング大会  
 ・日程・平成28年1月

**三、『高齢者交通安全講習会』**

詳細については、その都度お知らせします。

**介護・家事援助のご相談は**

**シルバーセンターへ**

働く意欲にあふれた介護士さんやヘルパーさんが学習会や研修会を重ねて「やさしく、ていねい」をモットーに暮らしのお手伝をしています。

お気軽にお電話ください。

お伺いしてご相談に応じます。

**ヘルパー事務所 Tel 22-4611**  
**(シルバーセンター事務所 22-4050)**





(左) 紙と布で作った「鎧兜」  
青木 廣志さん(上郡)  
(右) 手芸(レース編) 藪内 三千代さん

作品紹介



## 喜寿のお祝い申しあげます

喜寿(昭和13年4月～昭和14年3月、相生地区・21名、上郡地区・2名)を迎えられた方々をご紹介します。なお、上郡地区は古希のお祝いを受けられた方も掲載しております。(敬称略)

◇昭和13年(1938) : 日中戦争激化、暗い日々には庶民は「双葉山」と「愛染かつら」に熱狂した。

7月 泥沼化する日中戦争のため、第12回東京オリンピック(昭和15年開催)の中止を発表

9月 田中絹代・上原謙主演「愛染かつら」封切、主題歌とともに一世を風靡

12月 プロ野球、中島治康(巨人)が球界初の三冠王を達成

◇昭和14年(1939)

1月 横綱・双葉山が入幕3場所目の安芸の海に敗れ、3年間続いた連勝が69でストップ

・生涯成績：276勝68敗、優勝12回(全勝優勝8回)、幕内勝率：8割2厘、横綱勝率：8割8分2厘

### 相生地区

|       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 神谷 信子 | 矢野 繁  | 大和 俊文 | 坂本 信子 | 大越 克良 | 竹内 義彦 | 貝賀 重和 |
| 小林 和章 | 大角 義一 | 平田 友一 | 山本 英一 | 川本 利明 | 山本加代子 | 増谷 洋一 |
| 牡丹 力雄 | 岡本 敦子 | 信原 章男 | 一ノ瀬義春 | 信清 四郎 | 新村 勝夫 | 森川 玉江 |

### 上郡地区

|       |       |
|-------|-------|
| 上田 峻朗 | 小林 敏明 |
|-------|-------|

## 編集後記

本棚にある書籍を整理していた時、一枚の色紙が見つかり、手がとまり目がくぎづけになった。それには『人に会う時は春のような暖かい心で、仕事に励む時は夏のような情熱的な心で、考え事をする時は秋のような澄んだ心で、自分を戒める時は冬のような厳しい心で』と記されていた。

一年(春夏秋冬)は、まさに一日一日の積み重ねです。そして、日々の何気ない言動や感謝の積み重ねが良い人生になると思います。私達も「ありがとう」「ありがたい」と思う感謝の気持ちを声に出していきたいものです。

さて、この会報も次号で創刊から100号になります。会報にまつわる内容を掲載しますのでお楽しみにして下さい。

編集委員発行 (有田・浦川・濱中・松本・森川)